

太陽光発電設備の導入

日本では、天然ガスや石炭を燃やして電気をつくる方法が一般的です。しかし、これらの資源は限りがあり、燃えるときに温室効果ガスが発生してしまいます。

太陽エネルギーを活用して、地球に優しい生活を始めてみましょう。

1 太陽光発電とは

太陽光発電は、太陽エネルギーを直接電気に変える発電方法です。

●クリーンで枯渇しない

太陽光発電は、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しないクリーンな発電方式です。

さらに、天然ガス・石炭などの化石燃料のように枯渇する心配がありません。

●脱炭素への貢献

2kWの太陽光パネルで1年間発電した場合のCO₂削減量は、スギ林約1,000m²分(約100本分)※の吸収量に相当します。

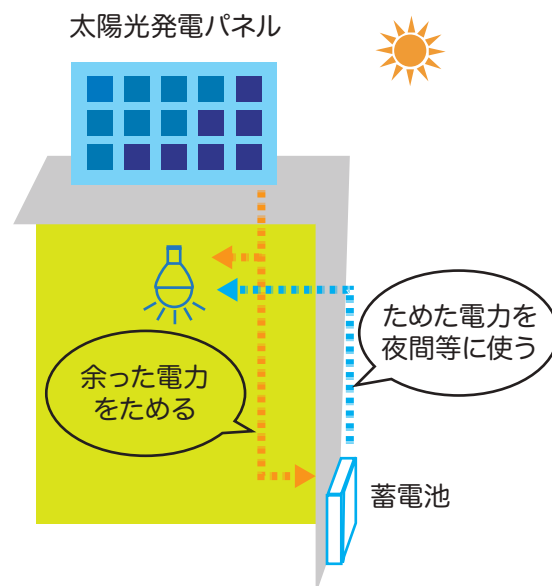
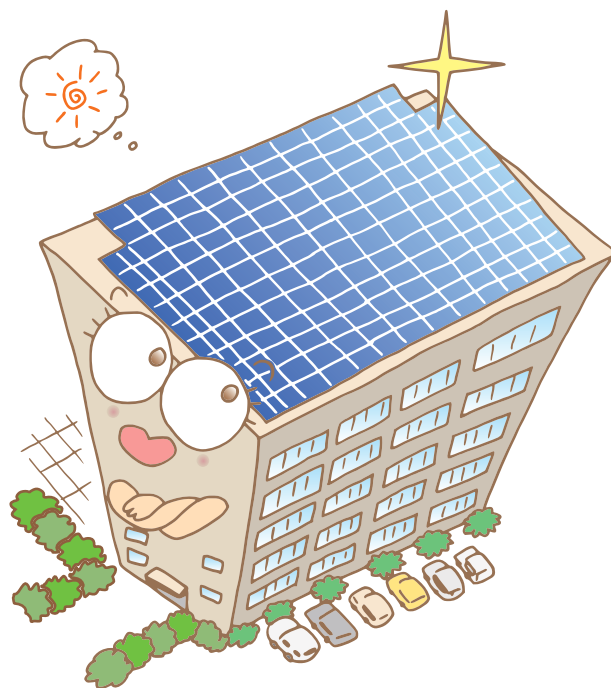
(※林野庁公表資料から算出)

●非常用電源

災害等で停電が発生した場合に、携帯電話の充電等の非常用電源として使用できます。

2 蓄電池との併用

太陽光発電設備に蓄電池を併用すると、日中に太陽光で発電した電力が余った場合は、蓄電池に電力をため、夜間等にその電力を使用することができます。



ワ シ ポ イ ン ト

太陽光発電や蓄電池の導入は、大規模な設備投資となることから特別決議が必要となり、区分所有者の合意形成が重要です(28ページを参照)。この設備投資に対しては、都の補助金等を活用することにより費用負担の軽減を図ることができます。